

青森県 剣道道場連盟

「少子化による少年剣道人口の減少で、入門勧誘の努力はポスターを作ったり、幼稚園を訪問したり、各道場でさまざまな工夫を行っていますが、一番効果があるのはやはり口コミで剣道の素晴らしさを伝えることです。また、家庭全体で剣道に理解を持っていただくことが大切だと考えます」(前田会長)

◆加盟団体数 39
◆会長 前田武興 教士七段
◆事務局 〒038-0021
青森市安田字近野113-16
TEL : 017-782-5065
syobikoh@actv.ne.jp



(財)全日本剣道道場連盟

〒143-0011
東京都大田区大森本町1-2-8
電話 03-5493-7080
FAX 03-5493-0220
HP <http://www.zendoren.org/>

道場ファイル 29

浩徳館 (こうとくかん)

青森県剣道道場連盟 登録番号5
◆副館長 工藤英彦
◆設立 1972年
◆所在地 〒036-0307青森県黒石市大字市の町48
(有)ジャストサービス3階
◆連絡先 盛 智博 TEL090-5597-5770
e-mail tom.dai-hina.kei@bloom.ocn.ne.jp
◆稽古日・時間
少年の部 月・水 19:00~20:30 (道場)
一般合同稽古 金 19:00~20:30
小学生、中学生、高校生、一般、近隣剣士(市内小学校体育館)

昨年落成した新道場にて



昭和47年11月、小野徳朗教士六段が私財を投じて浩徳館小野道場を設立した。青少年の健全育成のため、当初より、道場訓「礼儀正しく、規律正しく、自分に打ち克ち、自分を律する」、モットー「負けるな、嘘をつくな、弱いものをいじめるな」を全員で唱和し、これを根幹とした指導をする。平成12年に小野道場解体後、活動拠点は市の体育施設に移したが、平成24年5月、新道場浩徳館を現在地に新築した。道場の運営、指導は黒石剣友会が行なっている。技術的には大きく大らかに育てるために、切り返しを最重点に基本に徹し、すり足、素振りの基本動作、打ち込み、掛かり稽古、地稽古を行なう。定期的

稽古風景



的に道場内トーナメント戦を実施し、暑中稽古、寒稽古、合同稽古(毎週金曜)、卒業生立ち切り稽古、父母会行事(バーベキュー)などの年間行事も盛んだ。

小野徳朗初代館長は平成22年、83歳で全日本剣道連盟より剣道有功賞を授与された。稽古場としての道場の変遷はあったものの、浩徳館の名称と指導方針は脈々と引き継がれてきた。道場開設から2年後に始まった地元開催青森県県下選抜少年剣道大会は、本年度で第40回を迎える。当時の小学生は現在も指導者として少年剣道に携わっており、道場の運営方針と指導内容は間違っていないことが証であることを誇りにしている。

近隣の一般剣士も参加する合同稽古



道場ファイル 30

平内剣心会 (ひらないけんしんかい)

青森県剣道道場連盟 登録番号37
◆会長 工藤康貴 五段
◆設立 1974年
◆所在地 〒039-3321青森県東津軽郡平内町大字小湊字下槻12-1 平内町武道館
◆連絡先 工藤康貴
TEL&FAX 017-755-2081
◆稽古日・時間
町立武道館にて2年ごとに曜日変更
平成25年度 火・金 18:30~21:00(来年度から2年間、水・土)

青少年健全育成を目指して、おもに地域の小学生、中学生を対象として、自から心身の鍛錬や礼法、作法、所作など剣道を通じて学ぶことを目的に結成された。町立武道館にて稽古を行っており、空手・柔道との間で2年ごとに使用の曜日変更を行なっている。

指導内容としては、日本古来から伝わる剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づき竹刀の扱い方を指導する。また、相手の人格を尊重し、心豊かな少年少女を育成し、礼法、作法、所作を重んじる指導をする。さらに、心身を鍛えるとともに、安全や健康に留意し、生涯にわたって剣道が続けていくことができること

を目指した指導をしている。剣道を通じて人をいたわる心、思いやりのある心を持つ人になることを目標に日々精進する。

地域の小学生から一般まで年代を問わず、随時入門のドアを開けて活動しており、指導者は自らも心身の鍛錬を目的にボランティアで行なう。月例会、夏休み合宿、稽古納め会、鏡開き、豆まき会、卒業会員を送る会のほか、町が主催するかるた大会などにも参加し、日頃鍛えた集中力や瞬発力を大いに発揮し上位入賞するなど、地域行事にも積極的に参加している。

また、平内町にある道場「西武館」と相互に出稽古を行なうなどして切磋琢磨し、剣を通じて交流を深めている。

指導者との稽古



全会員で行なう基本稽古



平成24年度卒業生を送る会にて

